

平成 26 年 度

幼稚園教員資格認定試験

指導案の作成に関する試験

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、すべて所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから90分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ」の合図があったら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ってもかまいません。

問 題 1～2 ページ

以下は、ある幼稚園の2年保育5歳児クラス(男児15名、女児15名、計30名)における10月の指導計画(週案・日案)の一部を示したものです。週案を基に、日案の(略)の部分の推測しながら、指導計画の中に示されている【問1】から【問6】について答えなさい。

<週案>

10月第2週	
前週 の 幼 児 の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や園舎裏に落ちているクリをみつけた幼児たちはバケツに入れて集める。数人でその個数を確認すると60個以上あり、クラスの数より多いことが分かり、みんなで食べることにする。自分たちで採取したクリをゆでることでおやつとなり、おいしく食べられたことに満足している。 ・A児が父親のつくってくれたドングリのヤジロベエをもって登園すると、幼児たちはそれに興味をもち、園庭でドングリを拾い、教師に手伝ってもらってヤジロベエをつくる。幼児はドングリを手にして同じような大きさ、形、質感などを通してバランスを考えようとしている。しかし、予想とは違ってバランスがとれないこともあり、「同じ大きさだけど、こっちが重いのかな」などと不思議がる姿がみられる。こうした幼児の気付きに共感し、教師がデジタルばかりを準備すると、幼児は数値の表示を目安に、同じくらいの重さのドングリを選んで製作している。 ・遊戯室では、大型積み木や巧技台、段ボールを使って基地や店などをつくり、そこで気の合う友達と話し合い、場所を整えたり役割を確認したりして遊びを進めている。 ・B児が「お店屋さんをやろう」と空き箱と広告紙でお菓子をつくると、C児が「お祭りの出店にしよう」という。周囲にいた男児3人が「金魚すくいやお面屋をやろう」といって、金魚とお面をつくり始める。各幼児が地域のお祭りの出店の様子を思い出して話したり、どうしたら店らしくなるのかアイデアを出したりしながら製作を続ける。その姿に女児3人が興味を示し、ビニール袋に絵の具を溶いた色水を入れて水ヨーヨーをつくる。 ・廃材の牛乳パック、プリンカップ、空き箱、包装紙、ラップの芯、ストローなどを使って自動車などの玩具を製作し、それを出店に並べる幼児がいる。 ・友達の玩具のよいところに気付くと、模倣したり、つくり方を聞いたりして、自分の玩具をつくらうとする姿がみられる。 ・ウサギやイシガメ、メダカなどの飼育動物の世話を覚えてかかわったり、保育室前のプランターに植えてあるマリーゴールドやペゴニアなどに水をやったりしている。それらを観察して発見し気付いたことを友達と話したり、教師に伝えたりする。 ・園庭にいるカマキリやバッタなどの小動物を競うように捕まえると、飼育ケースに入れて友達にみせながら、その特徴をうれしそうに話している。 ・園庭では、幼児らが誘い合ってサッカー遊びを始める。この幼児たちは、ルールや遊び方、遊びに必要なものなどを共有できる関係になりつつある。幼児だけで得点ボードを出して競い合うようになる。しかし、最近始めた鬼ごっこのケイドロやしっぽとりゲームはチームをつくって遊んでいるものの、教師が援助しないとうまくいかないことがある。教師が作戦タイムをとり、遊ぶ場所の範囲やルールを話し合い、確認する。チームが勝つとうれしいので、逃げ方や追いかけ方を工夫する姿がみられる。 ・年下の幼児が自分たちのやっている遊びに参加したり、遊び方やつくり方を教えてほしいと頼んだりすると、年長児としての誇りや自信をもってうれしそうにかかわっている。
ねらい	<p>【問1】 上欄の「前週の幼児の姿」および下欄の「内容」から予想される10月第2週のねらいを三つ記述しなさい。</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドングリや落ち葉、木の枝、ひまわりの種などを集め、それを使って工夫して遊ぶ。 ・友達と相談や協力をしながら、お祭りの出店で売る小物やゲームで使う道具、店の看板などをつくったり飾ったりして、出店ごっこをする。 ・園庭に生息しているカマキリなどの小動物を捕まえたり飼育したりして、体の色や大きさ、羽根の形など、この時期の特徴に気付く。 ・サッカーの得意な友達のボールのけり方をみたり、話を聞いたりしてサッカー遊びをする。 ・ケイドロやしっぽとりゲームなどのチームで競うおもしろさが分かり、チームが勝つことを目指して、協力して遊ぶ。

<日案>

ねらい	(略) ・友達と考えを出し合い、競い合ったり進んで協力したりして、チーム対抗の遊びを楽しむ。		
内容	(略) ・ケイドロやしっぽとりゲームなどでチームが勝つための作戦や工夫を考えて、友達と一緒に実際にやってみる。		
時間	予想される幼児の活動	環境の構成	教師の援助
8:40	○登園する。 ・挨拶をする。 ・身の回りの持ち物を片付ける。		【問2】 登園してきた幼児に対する教師の援助を二つ記述しなさい。
9:00	○飼育動物の世話をする。 ・飼育小屋や飼育ケース、水槽のそうじをする。 ・エサやりをする。 ○出店ごっこをする。 ・いくつかのグループでゲーム屋、アクセサリ屋、水ヨーヨー屋、菓子屋、玩具屋などの出店を決めて準備し、小物をつくり、ごっこ遊びをする。 【問5】 水ヨーヨー屋を例にして、予想される幼児の活動を三つ記述しなさい。 ○カマキリ、バッタなどを捕まえたり、飼育したりして観察する。 ○サッカー遊びをする。 ○ケイドロやしっぽとりゲームをする。 ○クリ拾いをする。	・屋外の流し台横にブラシ、たわし、たらいを置いておく。 <保育室・遊戯室> 【問3】 出店ごっこでは廃材などを用いて小物などをつくっている。その際の環境の構成について、廃材の使用に関することを二つ挙げ、その理由も記述しなさい。 <保育室・園庭> 【問6】 幼児が小動物を捕獲したり、飼育や観察したりするための環境の構成について三つ記述しなさい。 <園庭> ・ゴールを点検しておく。 ・得点ボードをテラスに出しておく。 ・ケイドロとサッカー遊びをする幼児の動線が重ならないようにラインを引いておく。 ・すぐに取り出せるように赤と白のしっぽを色別に箱に入れておく。 ・テラスにクリ拾いに使うバケツを置いておく。	・エサの過不足に幼児の注意が向くような言葉をかける。 【問4】 幼児がしている出店ごっこがより充実するための教師の援助を三つ記述しなさい。 (略) ・チームの力のバランスをみて参加する。 ・帽子をかぶり、水筒を持っていくように促す。 (略) (略)
11:10	○片付ける。		(略)